

平成30年度 事業計画書 活動予算書

～事業期間～

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人

地域ひといき

理事長 小林 聖司

2018/05/19

平成30年度 事業計画書

特定非営利活動法人 地域ひといき

I 事業の実施方針

- ・ 保育所事業では事業所内保育所『大塚わくわく園』の安定した経営に前年度に引き続いて全力を投入する。今年度については借入金返済も始まり、返済資金を確保することを最低限の目標とし、減価償却費の積み立てを実施できることを次の目標とする。組織体制については開園初年度に培った基礎知識や理念を土台に従業員自らが主体的に組織を作り、保育を形作れるようにしていき、各種事業との連携も図り、地域に向けた子育て支援を促進する。園庭開放を実施して保護者様からの運営協力も仰ぎつつ、多くの人を巻き込んでいく形にしたい。
- ・ 学童児支援事業の生活困窮者向け学習塾『サンライズ』については前年度と同様に活動を継続し、子どもの貧困対策の一助とする。また、夏のイベントでの小学生キャンプは希望する声もあることから今年度も継続して実施をする。
- ・ 夜間養育事業では代表者の自宅での実施という側面上、利用率に関わらず安定して運営できており、今年度も継続して実施する。ファミリーホーム事業申請については養育者双方が専従しないとしないハードルもあり、時期を延期する。
- ・ カウンセリング事業は主に無料での相談という側面が強いことから前年度同様に『大塚わくわく園』での育児支援の一環として統合し、事業としては一旦休止する。しかしながら、従業員の専門知識を発掘して有料のカウンセリングやリフレクソロジー、アロマセラピーなどの親のリフレッシュ面での事業展開を模索する。
- ・ 育児知識等啓発事業では『大塚わくわく園』の地域支援交流室において託児付きの子育て講座を各種開催し啓発を拡大する。また、前年度にも実施した高槻市保健所とイクメン講座について今年度も協働を行い、啓発活動を実施する。
- ・ 集い場所の提供事業は引き続き『大塚わくわく園』で実施をし、児童支援公益活動団体にレンタルスペースとして無料貸出しをしたり、個人での利用、ママ会やサークルなどの利用を増やしていく。無料貸出しという側面から事業としては『大塚わくわく園』の地域支援の一環として位置づけ、地域を巻き込んでいく。
- ・ 育児用品リサイクル事業では出来る範囲で事務所倉庫の多くの物品を効率よくリサイクルを行い、地域の子育て世帯の役に立つようにしていく。
- ・ 育児支援員仲介事業では主に家庭からの要請で家庭に赴いて、家庭での育児の困りごとや問題点を解決するという形で保育士の専門性を家庭に届けていく形での事業展開を模索していく。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

※各事業の収支詳細は予算書に記載

(1) 保育所事業

i) 大塚わくわく園（月極・一時・病後児保育）

【内容】 保育が必要な乳幼児を預かり、家庭に代わって保育を行う。

【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』

【実施日時】 全ての曜日 7:00～20:00

【事業の対象者】 保育に欠ける乳幼児

【収入】 111,596,160円

【支出】 111,596,160円

(2) 学童児支援事業（学習塾、各キャンプ）※収益事業

【内容】 貧困家庭の低料金塾『サンライズ』を学童児支援として実施する。

また、夏休み期間の小学生キャンプを実施する。（希望者あれば）

【実施場所】 大阪府高槻市大塚町5-30-6 『大塚わくわく園』 地域交流支援室
近畿圏及び周辺(小キャン)

【実施日時】 毎週月・火・金曜日 16:00～20:00（サンライズ）

7月～8月の平日の1泊2日（小・中学生キャンプ）

【事業の対象者】 就学後から中学生までの児童

【収入】 500,000円 【支出】 500,000円

(3) 夜間養育支援事業

【内容】 夜間の間、児童を養育困難な家庭、緊急時に養育出来ない家庭に対して、
無料または低料金にて児童を預かり家庭に代わって養育し、必要な場合は
併行して家庭機能の回復に向け支援する。また、行政と調整したうえで、
社会的養護の子どもたちについても受け入れを進めていく。

【実施場所】 大阪府高槻市南部地域 『大塚のびのび園』

【実施日時】 20:00～翌7:00

【事業の対象者】 要保護児童及び要養育支援家庭

【収入】 100,000円 【支出】 100,000円

(4) カウンセリング事業

【内容】 『大塚わくわく園』の子育て相談（無料）として事業としては一時休止
しかしながら、今後の方向性について協議をしていく。

【実施場所】 『大塚わくわく園』

【実施日時】 終日（予約制）

【事業の対象者】 心理的ケアが望ましいと思われる施設利用者及びその家庭、
並びに施設周辺地域に暮らしカウンセリングを希望する者。

【収入】 0円 【支出】 0円

(5) 育児知識等啓発事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』地域支援交流室において託児付きの子育て講座を各種開催する。また、保健所との協働でイクメン講座を実施。代表著書「仕事も育児も大切なパパに送る本」も随時販売を行う。また、状況に応じて高槻・魂の声聴きたい講座、高槻・子どもたちの家講座などを行う。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』を中心として、高槻市南東地区
- 【実施日時】 年間5講座程度
- 【事業の対象者】 高槻市内に住む保護者や子どもで講座参加を希望する者。
- 【収入】 150,000円 【支出】 150,000円

(6) 集い場所の提供事業

- 【内容】 『大塚わくわく園』の地域支援交流室を無料で貸出し、市内の公益活動団体やママ会、サークルなどに貸し出して、様々な集い場所を作る。また、土日限定の子ども連れで来れるカフェや子ども食堂を出来れば実施する。
- 【実施場所】 『大塚わくわく園』 地域支援交流室
- 【実施日時】 通年(7:00~20:00)※但し、法人で利用しない日に限る。
- 【事業の対象者】 高槻市南東地区に住む保護者や子ども。
- 【収入】 0円 【支出】 0円

(7) 育児用品リサイクル事業

- 【内容】 必要のなくなった育児用品を回収、売却によりリサイクルを行う。
- 【実施場所】 インターネットオークション
- 【実施日時】 通年終日
- 【事業の対象者】 育児用品を必要とする者
- 【収入】 50,000円 【支出】 50,000円

(8) 育児支援員仲介事業

- 【内容】 主に家庭において、子どもたちの養育に困っている家庭に赴いて、保育士視点から改善点を共に考えられる支援を実施する。
- 【実施場所】 高槻市内全域
- 【実施日時】 通年終日
- 【事業の対象者】 高槻市民
- 【収入】 10,000円 【支出】 10,000円